

⑧土木費

08-01-01-455	土木管理経費
--------------	---------------

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。
事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇執行状況及び成果等

平成27年度から令和元年度の5か年で整備した道路台帳をはじめとする各種基礎資料を随時最新のデータに更新した。道路台帳については道路法に基づく市道路線認定、認定廃止、区域変更等の各告示に基づき道路台帳図及び各種調書を適切に更新し、各種基礎資料についても必要なものについて電子データ化を行い、地理情報管理システムの搭載データの更新を行った。これらによる効果として、苦情・要望対応及び道路情報の提供等、迅速な住民サービスが可能となっているとともに、地方交付税基礎数値をはじめとして国や東京都に提出が義務付けられている各種調書の基礎となるデータの作成が適切に行えた。また、地理情報管理システムの情報を常に更新することにより、職員相互の情報共有が確実に行き、道路の適正管理に活用されている。なお、地理情報管理システムは道路交通課以外の複数の課においても利用が広がってきており、関連する利用課の職員も含め情報共有が図られている。

事業費の内訳

(円)

名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
需用費	481,506	573,288	405,863	383,946	339,515	
役務費	24,296	15,546	15,546	15,546	15,546	
委託料	道路基礎資料 電子化業務委託	31,652,886	23,133,769	17,568,303	—	—
	道路基礎資料 更新業務委託	—	—	—	8,965,932	12,619,971
使用料及び賃借料	371,745	230,688	232,824	234,960	230,560	
備品購入費	—	—	167,832	—	—	
負担金・補助及び交付金	77,000	77,000	77,000	77,000	7,000	
合計	32,607,433	24,030,291	18,467,368	9,677,384	13,212,592	

08-02-01-458	道路橋りょう管理経費
--------------	-------------------

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇執行状況及び成果等

道路の整備保全上必要である資材や燃料、光熱水費のほか、道路管理や設計等に必要なコンピュータシステムや機械設備の保守点検、道路施設に関する各種保険等、安全で快適な道路環境の整備を行い、道路機能を保持した。

事業費の内訳

(円)

名 称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
需用費		4,162,752	2,722,252	3,102,837	2,750,226	2,907,793
役務費		1,083,461	505,371	495,492	568,045	682,250
委託料		6,134,832	6,178,896	6,197,948	6,139,980	6,158,680
内 訳	パーソナルコンピュータ 保守点検	88,128	132,192	95,256	—	—
	昇降機保守点検	1,989,360	1,989,360	2,007,780	2,026,200	2,026,200
	土木設計積算システム サポート業務	1,706,400	1,706,400	1,722,200	1,719,300	1,738,000
	昇降機防犯監視業務	2,350,944	2,350,944	2,372,712	2,394,480	2,394,480
使用料及び賃借料		1,677,855	2,086,095	2,099,169	1,578,975	1,560,495
備品購入費		54,000	—	2,191,341	66,550	—
負担金・補助及び交付金		100,900	677,860	700,700	624,700	378,810
公課費		13,300	—	—	—	—
補償補填及び賠償金		—	—	—	177,183	0
合 計		13,227,100	12,170,474	14,787,487	11,905,659	11,688,028

事業カルテ (3年度決算)

道路交通課

08-02-01-461

街路灯維持管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	E1-2	F1-2	-	-	-
関連する個別計画	多摩市街路樹よくなるプラン改定版 多摩市みどりと環境基本計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成9年度に策定した「街路灯電気料削減基本計画」に基づき、光効率の良いタイプの灯具に交換し、電気料や維持費の削減を図ってきた。また、平成19年度から照度アップ工事を実施し、平成25年度には、街路灯のLED化方針を決定し、街路灯のLED化を進めてきた。平成29年度には、ESCO事業で、一括LED化をして更なる省エネ・省コスト化を図っている。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期 平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	道路を通行する上で、交通安全及び防犯上の観点から、道路を安全・安心に利用できるよう夜間の道路環境の保全に努める。平成30年度から取り組んでいる、ESCO事業対象外のナトリウム灯のLED化を、計画的に実施する。
予算の執行方法	街路灯の維持補修、改良工事の実施、及び街路灯電気料の支払を行った。
事業の成果	ESCO事業による街路灯LED化事業業務委託で、適正な照度により夜間の安全・安心な道路空間を確保した。また、電気料金や修繕費等のコスト削減、CO2排出量を削減した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	79,060 千円	131,366 千円	145,200 千円	138,989 千円	127,644 千円	
事業にかかる実コスト	87,042 千円	136,826 千円	150,779 千円	144,430 千円	133,028 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	0 千円	27,000 千円	31,000 千円	30,000 千円	26,000 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	79,060 千円	104,366 千円	114,200 千円	108,989 千円	101,644 千円
間接経費						
職員人件費	7,139 千円	5,460 千円	5,579 千円	5,441 千円	5,384 千円	
《従事人員数》	0.81 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	
その他の人件費	843 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	街路灯のLED化率	目標	10,067/10,800基 93%	10,244/10,824基 95%	10,366/10,825基 96%
		結果	10,138/10,824基 94%	10,275/10,825基 95%	—
成果指標 (アウトカム)	街路灯の維持管理(市民要望等による修理・改良件数)	目標	200件	200件	200件
		結果	80件	47件	—

特記事項

-

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 後 の 性 の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的 的 A	財 一 源 般 B		
A	B	C	イ	平成29年度からのESCO事業導入により、LED化率は大幅に向上するが、市民サービスの維持向上を図るため、事業者への指導を強化するとともに、ESCO事業終了後の街路灯環境のビジョン構築を図るための調査研究が必要である。

<街路灯維持管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

街路灯の電気料、修繕料、改良工事を行った。

(円)

年度	街路灯の電気料		街路灯の修繕・改良工事		金額合計
	本数	金額	本数	金額	
29	10,778	65,063,386	1,183	13,996,675	79,060,061
30	10,787	35,862,182	143	35,371,757	71,233,939
元	10,800	43,975,712	185	36,931,576	80,907,288
2	10,824	35,017,877	247	39,571,873	74,589,750
3	10,825	30,806,944	168	32,437,116	63,244,060

多摩市街路灯・公園灯LED化事業業務委託

街路灯のLED化を図り、省エネルギー化を推進するため、平成29年度から11年間の契約で、街路灯の改修に係る設計、施工、維持保全等を包括委託するESCO事業を導入した。平成30年度からは、平成29年度に一括してLED化した街路灯の維持管理業務を開始した。

事業カルテ (3年度決算)

道路交通課

08-02-02-465

道路維持事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	—	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	道路の清掃業務、側溝及び集水桝浚渫業務、産業廃棄物処分業務、維持補修工事などを継続して行うことにより、道路の安全確保を行っている。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	道路の破損箇所等の補修や、清掃等を適切且つ継続的に行うことで、車両や歩行者の円滑な通行と交通安全の確保及び道路環境の向上を図る。 道路のパトロールや、清掃などを継続的に行い、破損箇所や不良箇所の改善を速やかに実施し、車両及び歩行者の円滑な通行と交通安全の確保を持続させる。
予算の執行方法	道路の清掃業務委託、側溝及び集水桝浚渫業務委託、産業廃棄物処分業務委託、維持補修工事などを実施した。
事業の成果	道路施設の不良箇所を可及的速やかに改善し、歩行者・自転車・車両の安全かつ円滑な通行を確保した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
決算額(単位:千円)	147,368 千円	157,558 千円	175,304 千円	172,909 千円	166,884 千円
事業にかかる実コスト	171,062 千円	181,174 千円	197,612 千円	197,330 千円	186,808 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	642 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	52 千円	48 千円	57 千円	219 千円
	一般財源	147,316 千円	157,510 千円	174,605 千円	172,690 千円
	間接経費				
職員人件費	19,477 千円	17,389 千円	14,418 千円	18,081 千円	
《従事人員数》	2.21 人	2.07 人	1.68 人	2.16 人	
その他の人件費	4,217 千円	6,227 千円	7,890 千円	6,340 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	道路等の破損補修件数	目標	200件	200件	200件
		結果	193件	159件	—
成果指標 (アウトカム)	道路の管理瑕疵による事故件数	目標	0件	0件	0件
		結果	1件	0件	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的 的	財 一 源 般		
B	A	A	イ	道路施設の老朽化により多発している道路の破損箇所等の補修や、清掃などを適切且つ継続的に行うことで、車両や歩行者の円滑な通行と交通安全の確保及び道路環境の向上を図っていく。多摩ニュータウン整備から40年以上経過し、自転車歩行者専用道路の全体的な補修が必要となっている。

<道路維持事業>

◇ 執行状況及び成果等

■ 道路維持管理等業務(除雪及び道路管理上集まった廃材の処理等)

年度	件数	金額 (円)
29	1	5,301,929
30	0	0
元	0	0
2	1	156,750
3	1	2,409,887

■ 諸工事(道路破損等の補修、排水等の整備 他)

年度	件数	市内道路補修工事	
		件数	金額 (円)
29	55		95,219,542
30	77		113,524,208
元	56		115,630,129
2	42		109,812,540
3	39		102,379,076

■ 道路及び自転車歩行者専用道路清掃、放置自動車等撤去処分、側溝及び集水桝浚渫、原材料等 (円)

種別	年度	29	30	元	2	3
道路及び自転車歩行者専用道路清掃		34,752,469	34,550,647	43,575,661	43,676,247	44,175,840
放置自動車等撤去処分		0	0	0	0	0
側溝及び集水桝浚渫業務委託		8,699,037	7,095,423	10,441,102	10,922,574	10,652,101
産業廃棄物処分業務委託		1,941,678	1,324,026	4,033,928	7,015,910	5,839,680
道路調査業務委託		810,000	820,800	896,400	825,000	—
市道路敷地測量等業務委託		269,244	0	484,000	0	935,000
原材料費		344,020	237,545	229,043	480,678	478,500
その他(役務費)		30,094	5,508	14,190	19,140	13,780
合計		46,846,542	44,033,949	59,674,324	62,939,549	62,094,901

事業カルテ (3年度決算)

道路交通課

08-02-02-466

多摩センター共同溝維持管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・共同溝の整備に関する特別措置法及び同法施行令				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち					
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり				
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	-						
関連する報告書など	-						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和63年10月、旧住宅都市整備公団より道路施設として引継ぎ、平成10年度に共同溝整備計画を変更し、電力及び通信の増設を行った。 また、平成15年度に長期修繕計画を策定して、計画的な維持管理を実施してきたが、計画策定から10年以上が経過したことから、平成28年度と令和元年度に長期修繕計画の見直しを行い、より効率的・効果的な維持管理を行っている。						

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	ライフラインの設置等に係る道路掘削を不要とし、道路構造を保全すると共に、安全確実なライフラインの確保を図るため整備された共同溝の適切な管理により機能を維持することで、良好な市民サービスの提供を行う。長期修繕計画に基づき、躯体補修をはじめ、排水ポンプ、酸素検出器、灯具及び電極棒の取替えを行い、共同溝の機能を維持する。	
予算の執行方法	修繕料、保険料、設備機器保守、光熱水費、点検委託料、附帯設備等維持補修工事請負費を執行した。	
事業の成果	長期修繕計画に基づき躯体補修をはじめ、排水ポンプ、酸素検出器、灯具の取替えを行い、共同溝の機能を維持向上させることにより、共同溝機能の安定化を図り、ライフラインの機能停止、喪失を防止した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	44,802 千円	39,748 千円	34,563 千円	28,092 千円	33,065 千円	
事業にかかる実コスト	49,649 千円	44,284 千円	38,425 千円	31,859 千円	35,798 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	36,803 千円	32,656 千円	28,404 千円	23,077 千円	25,281 千円
	一般財源	7,999 千円	7,092 千円	6,159 千円	5,015 千円	7,784 千円
	間接経費					
職員人件費	4,847 千円	4,536 千円	3,862 千円	3,767 千円	2,733 千円	
《従事人員数》	0.55 人	0.54 人	0.45 人	0.45 人	0.33 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	共同溝内巡視点検回数	目標	12回	12回	12回
		結果	12回	12回	-
成果指標 (アウトカム)	共同溝に関する維持関係費であるため、成果指標を設定することはなじまない。	目標	-	-	-
		結果	-	-	-

特記事項

-

◇自己点検

成果指標 の推移	今後の見通し		方今後 向後の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
N	B	B	イ	共同溝本体の老朽化が進行していく事から、令和元年度に実施した点検調査結果を踏まえ見直した新たな長期修繕計画に従って、計画的に設備更新を行いながら長寿命化を図っていく。

<多摩センター共同溝維持管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

多摩センター共同溝の本体及び各種設備の円滑な管理等を行うために、保守の委託及び共同溝内の設備修繕を行った。

金額:(円)

年度 件名	29	30	元	2	3
共同溝附帯設備の修繕料	1件	1件	1件	1件	1件
	162,000	498,960	493,900	497,200	424,600
共同溝の電気料、電話料及び火災保険料	3件	3件	3件	3件	3件
	3,675,815	3,278,122	3,100,425	2,956,455	3,016,315
共同溝本体・設備保守点検委託料	1件	1件	1件	1件	1件
	5,751,000	6,912,000	7,541,220	7,511,900	7,511,900
共同溝調査・点検業務委託料	2件	2件	2件	0件	0件
	918,000	858,600	12,491,600	0	0
共同溝附帯設備補修工事	4件	4件	2件	3件	5件
	34,294,968	28,199,880	10,936,000	17,127,000	22,112,200
合 計	44,801,783	39,747,562	34,563,145	28,092,555	33,065,015

事業カルテ (3年度決算)

道路交通課

08-02-02-467

街路樹等維持管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	F1-1	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市街路樹よくなるプラン改定版 多摩市みどりの基本計画 多摩市みどりのルネッサンス					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成20年度に街路樹維持管理方針となる多摩市街路樹よくなるプラン(街路編)を策定し、平成30年度に多摩市街路樹よくなるプラン改定版として見直しを行った。プランに基づき、平成24年度より沿道環境を整えるため間引きや剪定等を実施し、支障箇所の改善を図ってきた。また、平成26年度より枯れ枝などによる事故を防ぐために、枯れ木、枯れ枝などの撤去を進め、平成28年度から建築限界を確保するための下枝剪定を進めている。 なお、平成22年度から管理業務委託の契約方法を3年間の複数年契約としている。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	「市民が誇る、美しいみどりの“みち”」を目指して、多摩市街路樹よくなるプラン改定版に基づき、道路通行の安全や沿道住環境に支障を及ぼす街路樹の剪定・伐採や間引き、街路樹環境の更なる改善を目指した更新等を実施する。安全な通行の確保に向けた適切な管理をしながら、安心・快適なみちづくり、今後を見据えた持続可能なみどりの形成を図る。	
予算の執行方法	街路樹等の剪定・草刈・除草・枯木及び枯枝の撤去を行うと共に、支障改善を目的とした間引き等を委託業務により執行した。	
事業の成果	信号機の視認障害、街路灯の照度障害などの交通支障、沿道住居等への日照支障等の改善や、緑量の適正化等を進めることにより、交通安全や防犯等の向上を図った。また、更新を含む試験的な取組みを進めることにより、安全・快適で健全な街路樹空間を構築した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
決算額(単位:千円)	170,627 千円	184,706 千円	215,606 千円	212,497 千円	210,311 千円
事業にかかる実コスト	192,482 千円	206,095 千円	233,826 千円	229,947 千円	230,839 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	3,435 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	14,000 千円	8,000 千円	40 千円	0 千円
	一般財源	156,627 千円	176,706 千円	212,131 千円	212,497 千円
	間接経費				
職員人件費	15,951 千円	11,425 千円	11,071 千円	12,054 千円	
《従事人員数》	1.81 人	1.36 人	1.29 人	1.44 人	
その他の人件費	5,904 千円	9,964 千円	7,149 千円	5,396 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	剪定本数、間伐本数	目標	837本(剪定) 120本(間伐)	837本(剪定) 120本(間伐)	860本(剪定) 120本(間伐)
		結果	837本(剪定) 279本(間伐)	837本(剪定) 318本(間伐)	—
成果指標 (アウトカム)	街路樹による支障改善件数	目標	道路環境の向上 (要改善路線数20路線)	道路環境の向上 (要改善路線数20路線)	道路環境の向上 (要改善路線数20路線)
		結果	道路環境の向上 (要改善路線数21路線)	道路環境の向上 (要改善路線数23路線)	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成果 推移	今後の見通し		方 今 向 後 の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
A	A	A	イ	老木化・大径木化した街路樹が、安全で安心な通行や良好な居住環境の障害となるケースが増加してきている。街路樹の適正な育成管理を行っていくための管理費用は増加しつつあり、財源確保や経費の抑制も課題となっているため、継続的に育成管理できる街路樹環境への更新が必要である。

<街路樹等維持管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

街路樹の維持管理及び剪定等の業務委託料

年度	種別	街路樹等維持管理		街路樹剪定等 (円)	街路樹環境 整備等 (円)	有償ボランティア 報償費 (円)	合 計 (円)
		高木剪定本数 面積(m ²) (※)	金額 (円)				
29		771	112,536,000	42,508,339	14,835,690	250,000	170,130,029
		420,650.4					
30		771	112,536,000	48,221,203	23,180,310	250,000	184,187,513
		420,650.4					
元		837	147,331,920	50,953,834	17,119,795	200,000	215,605,549
		451,509.4					
2		837	148,646,300	44,283,553	19,367,095	200,000	212,496,948
		451,509.4					
3		837	148,646,300	40,886,375	20,578,800	200,000	210,311,475
		451,509.4					

※ 草刈、除草、中低木剪定、藤棚手入れの作業総面積

事業カルテ (3年度決算)

道路交通課

08-02-03-468

道路整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・無電柱化の推進に関する法律			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	E2-2	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市道路整備計画 多摩市地域防災計画 多摩市無電柱化推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成27年度に従前の「既存地区道路整備計画」を見直し、ニュータウン地区も含めた包括的な「多摩市道路整備計画」を策定している。この計画に基づき、平成29年度には重要整備路線の調査を行い、今後の街づくりとの整合を図った。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	市道の計画的な道路網等の整備により、市民生活の移動に関する快適性や安全性を向上させるとともに、円滑で快適な道路空間を創出させることを目的とする。 多摩市道路整備計画に基づき、市道2-1、2-3号幹線の用地買収事業、聖蹟桜ヶ丘北地区区画整理事業に伴う市道1-28号線の線形改良の検討を行う。東京都補助事業による市道幹線等の舗装打換工事、寄付による狭隘道路整備事業等を主要事業として実施する。 更に、市道1-3号幹線について国や東京都が推進する無電柱化整備事業を実施する。また、パルテノン多摩、多摩中央図書館、多摩中央公園の改修・整備と合わせ、市道5-35号歩線(レンガ坂)の改修事業を行う。
予算の執行方法	測量・調査等業務委託、工事請負費、用地買収費等として、適切に積算等を行い、契約した上で、財源として補助金等を獲得しながら事務執行した。
事業の成果	舗装の打換により、車両の通行に伴う振動や騒音が軽減され、沿道居住者等の快適性が向上した。また、拡幅整備用地の取得を進め、事業の進捗を図ることにより、歩行空間が確保され、通行者の安全性が向上した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	225,546 千円	215,283 千円	201,965 千円	201,783 千円	346,096 千円	
事業にかかる実コスト	250,215 千円	237,737 千円	227,712 千円	226,896 千円	376,741 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	9,711 千円	8,000 千円	1,600 千円	3,280 千円	0 千円
	都支出金	21,987 千円	55,242 千円	98,100 千円	111,998 千円	52,074 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	100,000 千円
	その他特定財源	0 千円	342 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	193,848 千円	151,699 千円	102,265 千円	86,505 千円	194,022 千円
間接経費						
職員人件費	22,561 千円	21,170 千円	25,747 千円	25,113 千円	30,645 千円	
《従事人員数》	2.56 人	2.52 人	3.00 人	3.00 人	3.70 人	
その他の人件費	2,108 千円	1,284 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	通路拡幅整備・道路改良・ユニバーサルデザイン関連工事の実施	目標	拡幅工事3路線 改良工事5路線	拡幅工事2路線 改良工事7路線	拡幅工事2路線 改良工事7路線
		結果	拡幅工事1路線 改良工事7路線	拡幅工事6路線 改良工事8路線	—
成果指標 (アウトカム)	ユニバーサルデザインブロック設置路線 延長割合 ※	目標	52%	54%	57%
		結果	52%	54%	%

特記事項

※第五次多摩市総合計画第3期基本計画に合わせ、成果指標の見直しを行った。

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	B	A	イ	道路整備計画に基づく重要整備路線の事業に着手するためには、沿道地権者の事業への理解と用地買収への協力が欠かせず交渉に時間を要する。一方で、現在進めている整備路線の用地取得を加速する必要がある。 交付金や都市計画税の充当など財源を確保しながら、着実に道路整備事業を進める。